

県内経済の基調判断

2025年2月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概 況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は総じて弱含んでいる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。この間、企業の景況感は総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる。

（参考）県内景況判断の推移

	2024年12月	2025年1月	2月
総 括 判 断	総じて足踏みしている (下方修正)	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)
生 産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	総じて弱含んでいる	総じて弱含んでいる	総じて弱含んでいる
雇用情勢	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている

	2024年4～6月	7～9月	10～12月
企 業 景 況 の 感	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

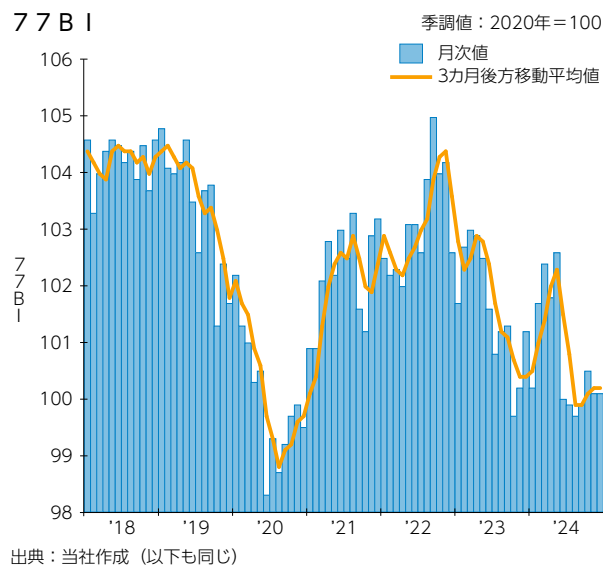
77B I (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

12月の**77B I (暫定値)**は、前月比横ばいの100.1となった。

採用指標別にみると、建築物着工床面積は前月比上昇し、宮城県消費動向指数は前月比横ばいとなったが、有効求人倍率は前月比低下した。また、11月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比横ばいの100.2となった。

77B I



77B I

(季節調整値、2020年=100)

	2024年10月	11月	12月
B I 値	100.5	100.1	100.1
鉱工業生産指数	109.2	101.9	101.9
宮城県消費動向指数	97.0	99.6	99.6
建築物着工床面積	53.9	43.1	107.3
有効求人倍率	97.1	98.7	97.9

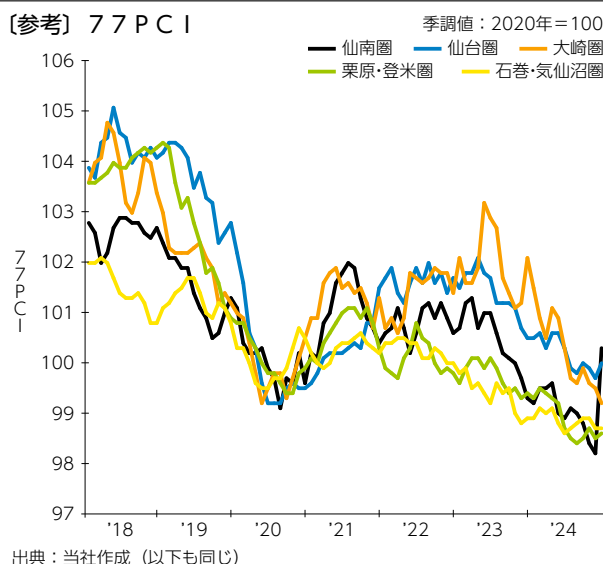
【参考】77P C I (広域圏別景気指数)

(季節調整値、2020年=100、前月比：%ポイント)

	2024年10月	11月	12月
仙南圏	▲ 0.3	▲ 0.2	2.1
仙台圏	▲ 0.01	▲ 0.2	0.3
大崎圏	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.3
栗原・登米圏	0.2	▲ 0.2	0.1
石巻・気仙沼圏	0.003	▲ 0.3	0.1

※77B I は、2024年8月公表分より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

【参考】77P C I



生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

11月の**鉱工業生産指数**は、前月比6.7%低下の101.9となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比マイナスとなったことなどから、2カ月ぶりに前月を下回った。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比2.9%の上昇となり、前月に引き続き前年を上回っている。

鉱工業生産指数



鉱工業生産指数

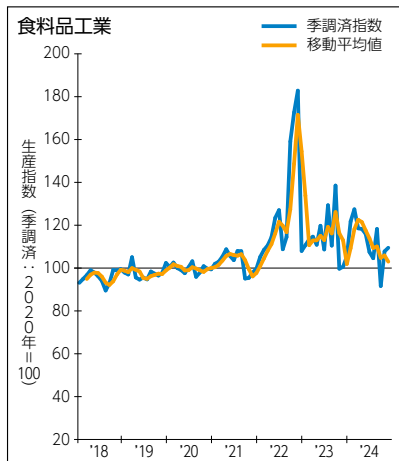
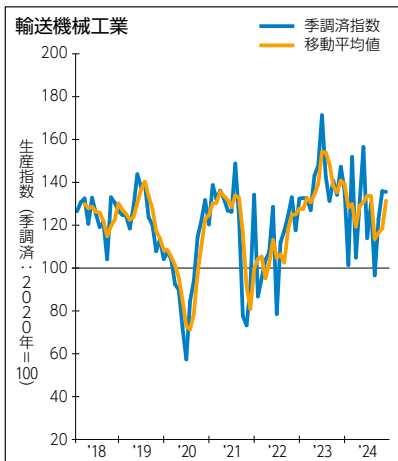
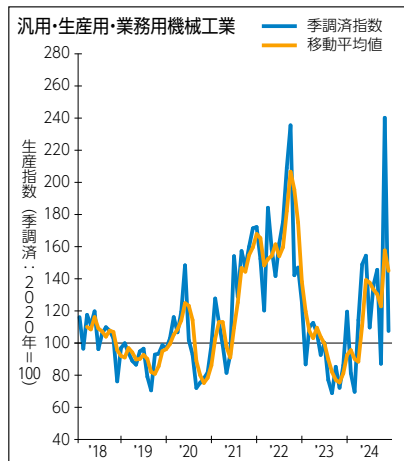
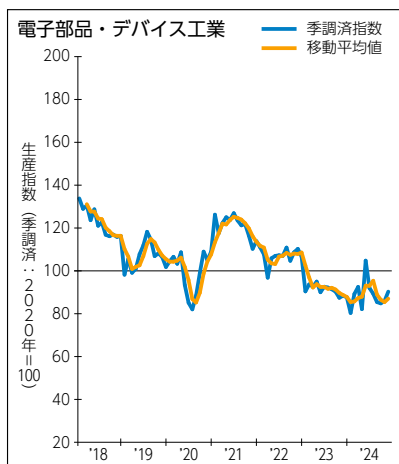
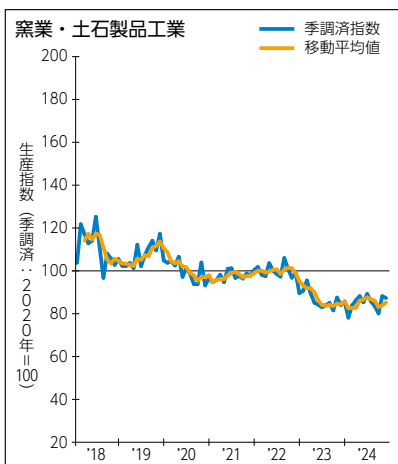
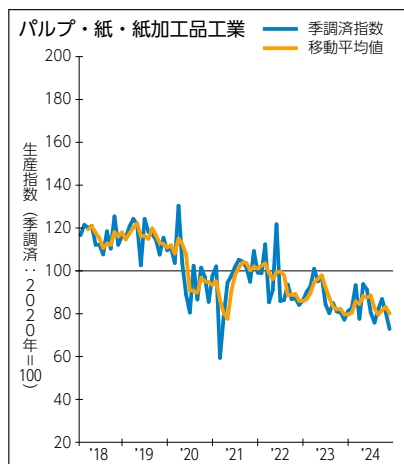
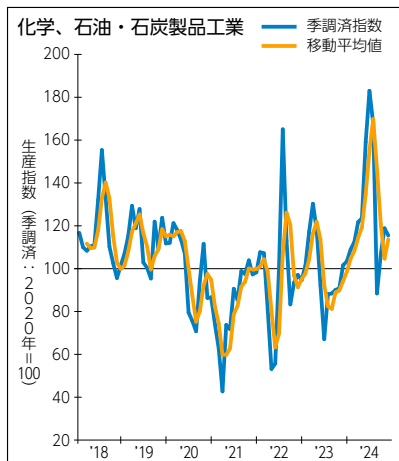
(2020年=100、季節調整済、前年比：%)

	2024年9月	10月	11月
宮城県	94.9	109.2	101.9
(前年比)	▲ 13.3	15.1	2.9
東北	101.4	112.6	105.5
(前年比)	▲ 1.5	11.5	4.2
全国	101.3	104.1	101.8
(前年比)	▲ 2.6	1.4	▲ 2.7

主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年=100、季節調整済、前年比：%)

業 種	2024年9月	10月	11月
化学、石油・石炭製品工業	106.7	118.9	115.5
(前年比)	23.5	31.0	9.0
パルプ・紙・紙加工品工業	86.8	80.5	72.8
(前年比)	7.2	▲ 1.7	▲ 4.0
窯業・土石製品工業	80.1	88.2	87.3
(前年比)	▲ 6.9	3.8	6.6
電子部品・デバイス工業	84.8	85.9	90.3
(前年比)	▲ 6.1	0.2	0.1
汎用・生産用・業務用機械工業	87.0	240.4	107.4
(前年比)	▲ 10.9	3.4倍	40.5
輸送機械工業	122.9	136.0	135.6
(前年比)	▲ 10.5	3.9	▲ 12.6
食料品工業	91.6	107.8	109.5
(前年比)	▲ 34.8	7.9	10.7



建設動向

公共工事請負金額は弱めの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は基調として水準は低下している。

公共工事

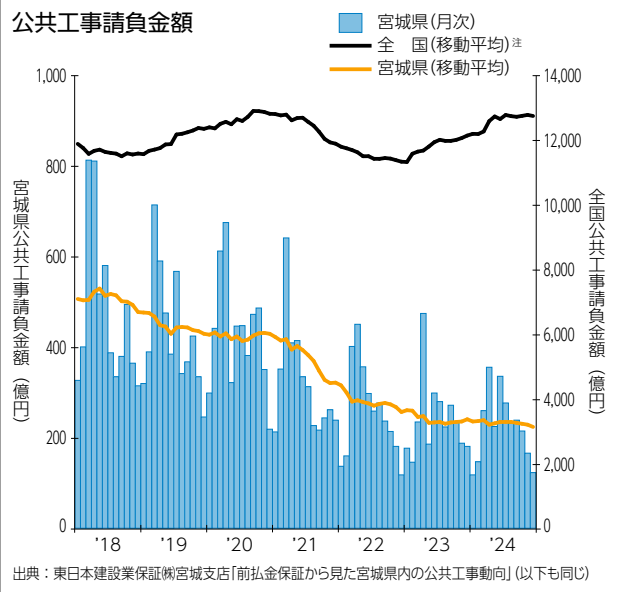
12月の公共工事請負金額は、前年同月比32.5%減の123億円となり、4カ月連続して前年を下回っている。

発注者別にみると、国の機関では、同35.3%増の12億円と前年を上回った。

一方、地方の機関は、県が同5.1%増の55億円、市町村等は同54.0%減の55億円となり、全体で同36.0%減の111億円と前年を下回った。

また、震災前の2010年12月の請負金額（131億円）と比べた水準は6.3%減となっている。

公共工事請負金額



注）12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額（発注者別）

（前年比、%）

	2024年10月	11月	12月
宮城県	▲ 8.2	▲ 11.7	▲ 32.5
国の機関	▲ 32.7	8.6	35.3
県	▲ 33.5	3.7	5.1
市町村等	18.3	▲ 23.5	▲ 54.0
全国	3.2	4.6	▲ 5.7

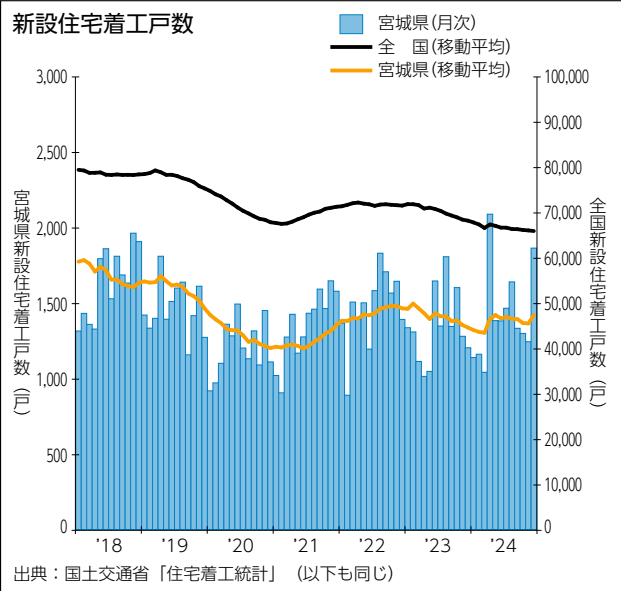
住宅建設

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比54.8%増の1,867戸（全国2.5%減、62,957戸）となり、5カ月ぶりに前年を上回った。

利用関係別にみると、持家が同39.1%増（402戸）、貸家が同50.0%増（1,071戸）、分譲が同86.1%増（376戸）と前年を上回った。

また、震災前の2010年12月の着工戸数（1,138戸）と比べた水準は64.1%増となっている。

新設住宅着工戸数



新設住宅着工戸数（利用関係別）

（前年比、%）

	2024年10月	11月	12月
宮城県	▲ 18.9	▲ 2.8	54.8
持家	3.8	19.4	39.1
貸家	▲ 11.9	▲ 9.5	50.0
分譲	▲ 49.8	▲ 9.3	86.1
全国	▲ 2.9	▲ 1.8	▲ 2.5

新設住宅着工戸数（市部・郡部別）

（前年比、%）

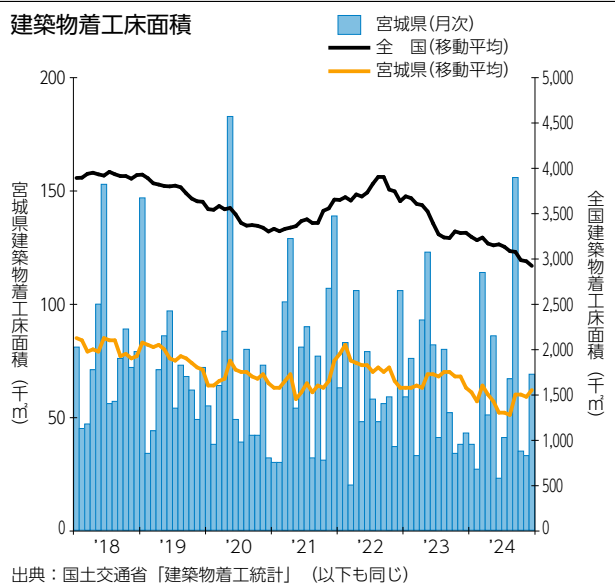
	2024年10月	11月	12月
市部	▲ 18.1	▲ 0.9	75.8
うち仙台市	▲ 23.9	2.0	61.1
うち仙台市以外	▲ 0.6	▲ 7.5	2.2倍
郡部	▲ 24.5	▲ 13.2	▲ 15.5

建築物着工

12月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比59.4%増の69千㎡、工事費予定額は同84.3%増の203億円となり、床面積は2カ月ぶり、工事費予定額は3カ月ぶりに前年を上回った。

使途別に床面積をみると、工場（23千㎡：前年同月比67.7倍）などが前年を上回った。

建築物着工床面積



建築物着工床面積(使途別)

(前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
宮城県	2.2	▲ 14.6	59.4
事務所	▲ 2.9	▲ 83.8	7.0倍
店舗	45.3	4.2倍	83.2
工場	▲ 51.6	▲ 71.5	67.7倍
倉庫	▲ 46.3	2.4倍	▲ 39.8
その他	39.6	▲ 42.8	▲ 37.1
全国	▲ 26.8	▲ 4.7	▲ 19.4

建築物着工工事費予定額(使途別)

(前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
宮城県	▲ 13.5	▲ 23.9	84.3
事務所	▲ 35.0	▲ 87.8	13.9倍
店舗	▲ 5.4	98.0	3.3倍
工場	▲ 36.0	▲ 64.2	64.0倍
倉庫	▲ 42.8	2.9倍	▲ 39.2
その他	22.2	▲ 26.5	▲ 49.9
全国	▲ 9.2	0.9	▲ 37.5

消費動向

宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はいずれもこのところ弱含んでいる。乗用車新車販売は持ち直しの動きが鈍化している。

消費動向指数

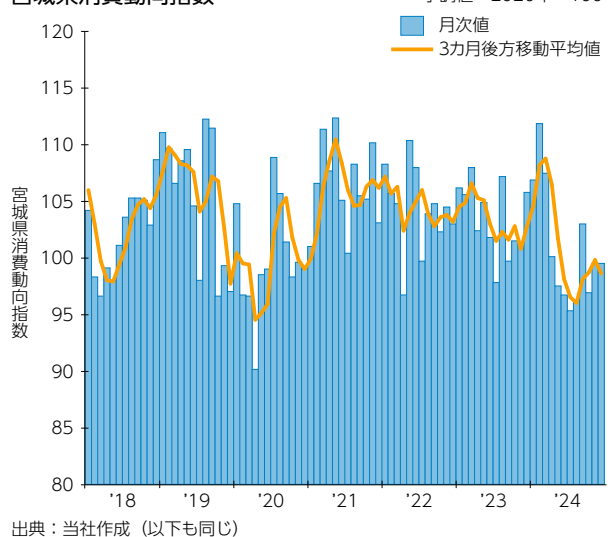
12月の宮城県消費動向指数は、前月比横ばいの99.6となった。

消費費目別にみると、「食料」などが上昇し「家具・家事用品」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比1.2ポイント低下の98.7となった。

宮城県消費動向指数

季調値：2020年=100



※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をより的確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

※消費動向指数は、2024年8月公表分より基準年を変更（2020年=100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

宮城県消費動向指数

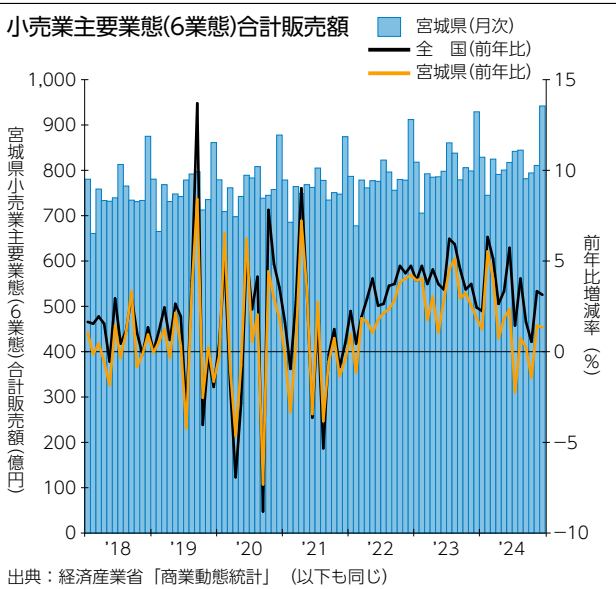
(季節調整値、2020年=100)

	2024年10月	11月	12月
消費動向指数	97.0	99.6	99.6
家賃指数	109.1	109.3	110.0
乗用車販売指数	108.9	108.1	103.3
コア消費支出指数	102.6	109.3	107.9

小売業主要業態販売

12月の小売業主要業態（6業態）の合計販売額（全店ベース）は、前年同月比1.4%増の946億円（全国3.2%増、5兆1,642億円）となり、前月に引続き前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同0.8%減の428億円（全国2.8%増）となり、2カ月ぶりに前年を下回った。コンビニエンスストアは同0.6%増の214億円（全国0.9%減）となり、前月に引続き前年を上回っている。家電大型専門店は同0.4%増の71億円（全国4.8%増）となり、6カ月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは同9.6%増の166億円（全国9.3%増）となり、45カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同0.3%増の68億円（全国3.3%増）となり、前月に引続き前年を上回っている。



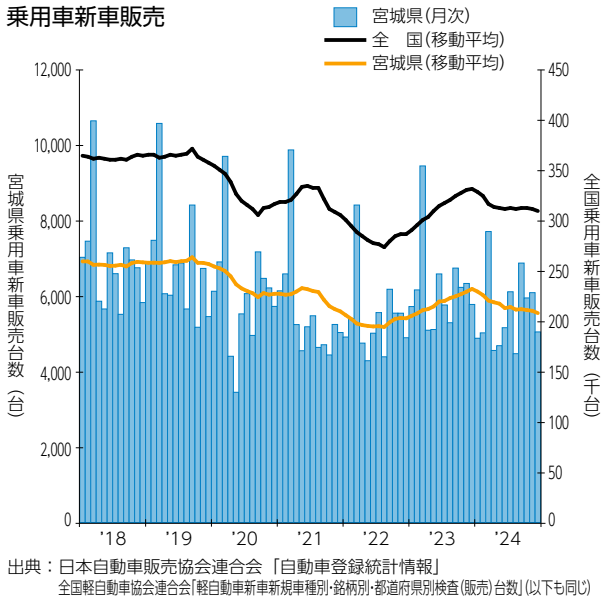
小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
6業態合計(宮城県)	▲ 1.4	1.5	1.4
百貨店・スーパー	▲ 2.5	1.3	▲ 0.8
コンビニエンスストア	▲ 0.6	0.3	0.6
家電大型専門店	▲ 8.6	▲ 1.5	0.4
ドラッグストア	4.3	5.4	9.6
ホームセンター	▲ 5.5	0.2	0.3
6業態合計(全国)	0.6	3.4	3.2

注) 全店ベース

乗用車新車販売

12月の乗用車新車販売台数は、前年同月比12.6%減（全国7.0%減）の5,058台となり、3カ月連続して前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同8.9%減（全国1.9%減）の2,217台となり、3カ月ぶりに前年を下回った。小型車は、同22.8%減（全国20.7%減）の1,055台となり、12カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同10.2%減（全国5.1%減）の1,786台となり、3カ月連続して前年を下回っている。



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
宮城県	▲ 4.5	▲ 3.8	▲ 12.6
普通車	0.9	2.5	▲ 8.9
小型車	▲ 10.4	▲ 2.2	▲ 22.8
軽乗用車	▲ 6.1	▲ 12.2	▲ 10.2
全国	1.0	▲ 3.9	▲ 7.0

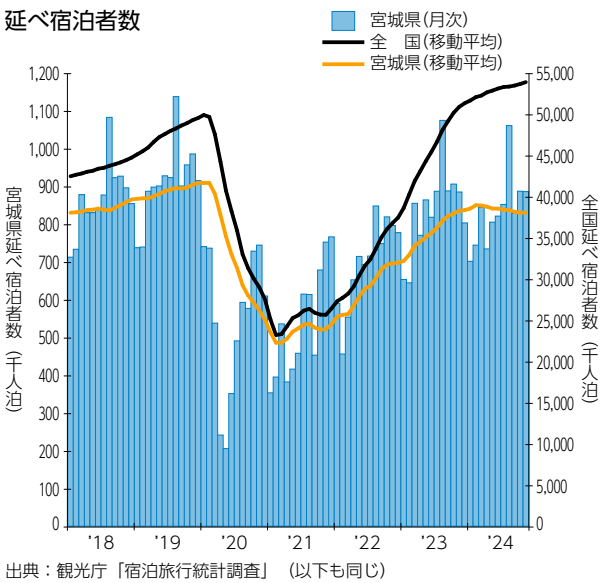
観光動向

11月の延べ宿泊者数は、前年同月比0.1%増の888千人泊となり、5カ月ぶりに前年を上回った。

居住地別にみると、県内宿泊客は同11.7%減の193千人泊と4カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同1.0%増の596千人泊と前月に引続き前年を上回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同27.4%増の73千人泊となり、28カ月連続して前年を上回っている。

延べ宿泊者数



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2024年9月	10月	11月
宮城県	830	889	888
うち県内客	177	171	193
うち県外客	572	627	596
うち外国人	54	75	73
全国	53,706	58,440	57,118
うち外国人	12,376	15,823	14,791

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
宮城県	▲ 6.8	▲ 2.0	0.1
うち県内客	▲ 20.1	▲ 16.2	▲ 11.7
うち県外客	▲ 7.0	0.6	1.0
うち外国人	31.8	11.0	27.4
全国	2.9	4.1	4.9
うち外国人	22.7	26.6	22.9

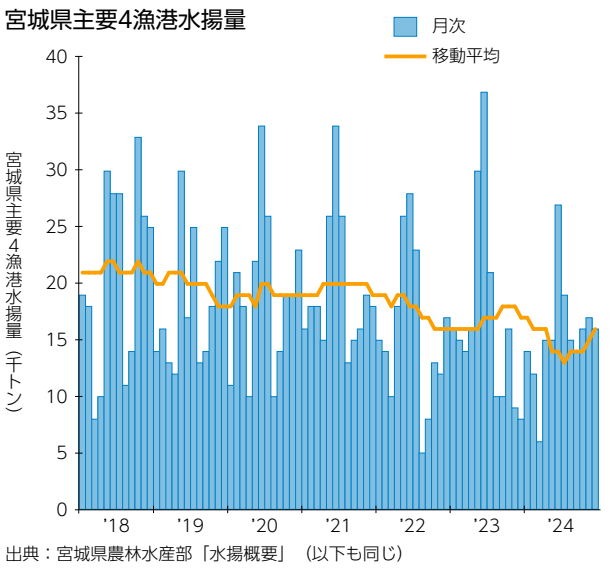
水産動向

12月の主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚げは、数量が前年同月比2.1倍の16千トン、金額が同10.7%増の36億円となり、数量は前月に引続き、金額は5カ月連続して前年を上回っている。

魚種別にみると、数量、金額ともイワシ類などが増加した。

漁港別にみると、数量、金額とも塩釜が前年を下回ったが、石巻、気仙沼、女川が前年を上回った。

宮城県主要4漁港水揚量



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
合計	▲ 0.1	83.0	2.1倍
塩釜	21.4	2.1倍	▲ 69.3
石巻	2.2	70.9	2.7倍
気仙沼	▲ 11.2	91.7	2.1倍
女川	32.5	87.1	3.8倍

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
合計	11.9	48.6	10.7
塩釜	28.0	34.2	▲ 22.4
石巻	11.2	20.7	33.0
気仙沼	▲ 4.3	70.8	21.9
女川	73.3	93.7	85.6

貿易動向

12月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比12.5%増の392億円、輸入が同18.9%減の1,017億円となった。

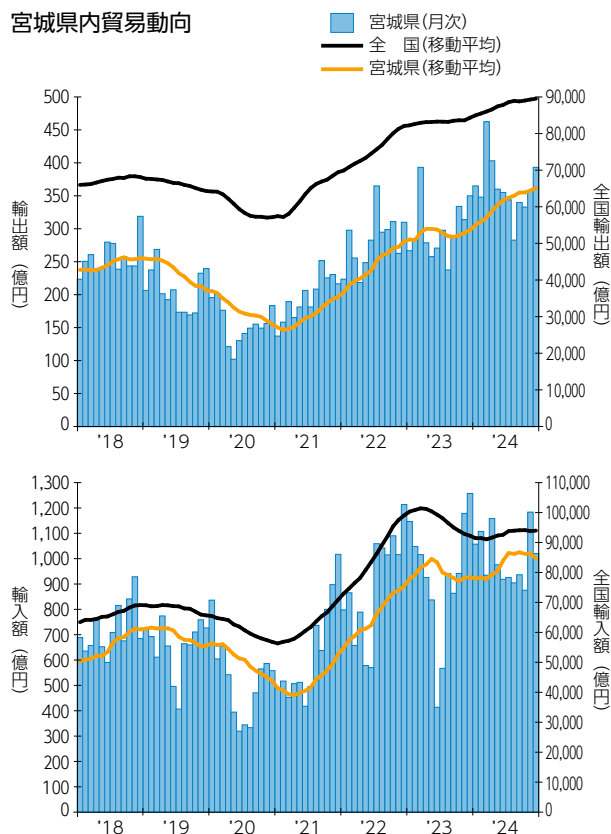
輸出は電池が増加したことなどから前月に引き続き前年を上回っている。一方、輸入は液化天然ガスが減少したことなどから2カ月ぶりに前年を下回った。

輸出額・輸入額

(前年比、%)

		2024年10月	11月	12月
宮城県	輸出	▲ 0.6	14.3	12.5
	輸入	▲ 7.0	0.4	▲ 18.9
全 国	輸出	3.1	3.8	2.8
	輸入	0.5	▲ 3.8	1.8

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」（以下も同じ）

物価動向

12月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.5%上昇の112.3となり42カ月連続して前年を上回っている。

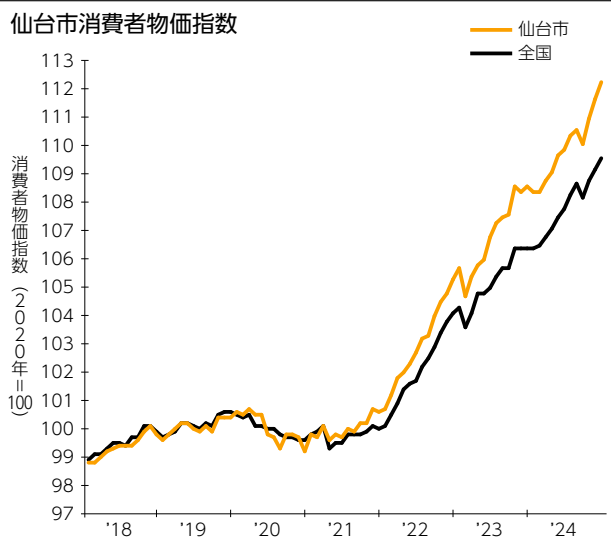
費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。

消費者物価指数（費目別）

(前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
生鮮食品を除く食料	3.8	4.4	5.2
住居	1.7	1.9	2.4
光熱・水道	0.6	4.7	9.5
家具・家事用品	4.4	5.3	3.4
被服および履物	1.1	▲ 0.2	0.9
保健医療	1.3	0.9	0.9
交通・通信	0.0	1.8	1.2
教育	3.4	3.4	3.4
教養娯楽	3.0	3.4	2.0
諸雑費	2.1	1.8	2.0

仙台市消費者物価指数



注）生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

(前年比、%)

	2024年10月	11月	12月
仙台市	2.2	3.0	3.5
全国	2.3	2.7	3.0

雇用動向

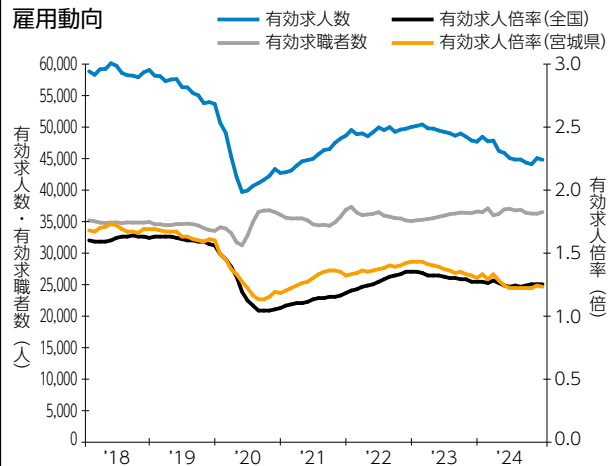
雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

12月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人数が減少したことなどから、前月比0.01ポイント低下の1.23倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて医療、福祉、サービス業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、大和（1.59倍）、仙台（1.51倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.76倍）、塩釜（0.77倍）などは1倍を下回っている。

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

職業安定所別有効求人倍率

（原数値、倍）

	2024年10月	11月	12月
気仙沼	1.19	1.19	1.26
石巻	1.28	1.34	1.45
塩釜	0.71	0.75	0.77
仙台	1.43	1.47	1.51
大和	1.42	1.48	1.59
古川	1.02	1.02	1.03
築館	1.34	1.36	1.50
迫	0.88	0.84	0.85
大河原	0.61	0.60	0.76
白石	1.24	1.24	1.32

有効求人倍率等

（倍、%）

	2024年10月	11月	12月
有効求人倍率(宮城県)	1.22	1.24	1.23
(全 国)	1.25	1.25	1.25
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 3.4	▲ 6.8	▲ 7.5

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

倒産動向

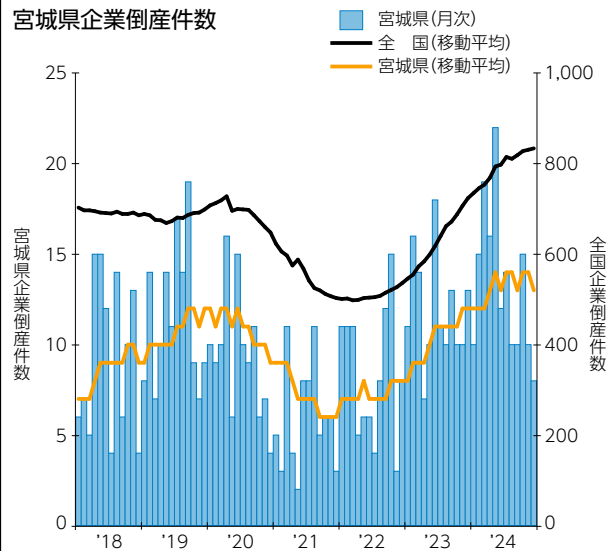
12月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比38.5%減の8件、負債額では同41.3%減の6億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業が4件などとなっている。

主因別では、販売不振が4件などとなっている。

地域別では、仙台市が3件、大崎市が2件などとなっている。

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」(以下も同じ)

企業倒産件数・負債額

（件、百万円）

	2024年10月	11月	12月
宮城県	15	10	8
負債額	1,370	1,013	574
全 国	909	841	842
負債額	252,913	160,223	194,030

企業倒産件数・負債額

（前年比、%）

	2024年10月	11月	12月
宮城県	50.0	0.0	▲ 38.5
負債額	25.7	▲ 58.1	▲ 41.3
全 国	14.6	4.2	4.0
負債額	▲ 17.9	68.9	88.0

人口動向

1月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比17,411人減の224万3,097人となり、45カ月連続して前年を下回っている。

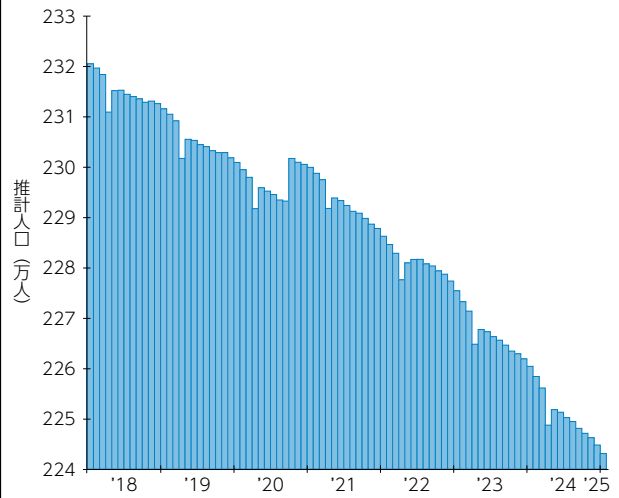
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,526人減、社会増減は115人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（72人増）、富谷市（34人増）の2市、減少したのは石巻市（2,264人減）、仙台市（2,220人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では10万3,756人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万8,663人増）、名取市（5,379人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万9,000人減）、気仙沼市（1万7,337人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2024年11月	12月	2025年1月
総人口	2,246,257	2,244,807	2,243,097
自然増減	▲ 1,519	▲ 1,584	▲ 1,663
社会増減	637	134	▲ 47

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向（推計人口）

(人)

	2011年3月 ①	2024年1月 ②	2025年1月 ③	前年比 ③－②	震災前比 ③－①		2011年3月 ①	2024年1月 ②	2025年1月 ③	前年比 ③－②	震災前比 ③－①
宮城県	2,346,853	2,260,508	2,243,097	▲ 17,411	▲ 103,756	村田町	11,939	10,093	9,848	▲ 245	▲ 2,091
仙台市	1,046,737	1,097,620	1,095,400	▲ 2,220	48,663	柴田町	39,243	37,474	37,005	▲ 469	▲ 2,238
石巻市	160,394	133,658	131,394	▲ 2,264	▲ 29,000	川崎町	9,919	7,867	7,689	▲ 178	▲ 2,230
塩釜市	56,221	50,663	50,328	▲ 335	▲ 5,893	丸森町	15,362	11,161	10,821	▲ 340	▲ 4,541
気仙沼市	73,154	57,169	55,817	▲ 1,352	▲ 17,337	亘理町	34,795	32,702	32,450	▲ 252	▲ 2,345
白石市	37,273	30,788	30,128	▲ 660	▲ 7,145	山元町	16,608	11,535	11,402	▲ 133	▲ 5,206
名取市	73,603	78,910	78,982	72	5,379	松島町	15,014	12,679	12,479	▲ 200	▲ 2,535
角田市	31,188	26,571	26,123	▲ 448	▲ 5,065	七ヶ浜町	20,353	17,417	17,175	▲ 242	▲ 3,178
多賀城市	62,990	62,510	62,077	▲ 433	▲ 913	利府町	34,279	35,058	35,033	▲ 25	754
岩沼市	44,160	43,542	43,231	▲ 311	▲ 929	大和町	25,366	28,459	28,356	▲ 103	2,990
登米市	83,691	71,842	70,423	▲ 1,419	▲ 13,268	大郷町	8,871	7,443	7,339	▲ 104	▲ 1,532
栗原市	74,474	60,417	59,025	▲ 1,392	▲ 15,449	大衡村	5,361	5,518	5,488	▲ 30	127
東松島市	42,840	37,860	37,392	▲ 468	▲ 5,448	色麻町	7,406	6,272	6,110	▲ 162	▲ 1,296
大崎市	134,950	122,603	120,862	▲ 1,741	▲ 14,088	加美町	25,421	20,706	20,249	▲ 457	▲ 5,172
富谷市	47,501	51,586	51,620	34	4,119	涌谷町	17,399	14,389	14,010	▲ 379	▲ 3,389
蔵王町	12,847	10,774	10,615	▲ 159	▲ 2,232	美里町	25,055	22,958	22,589	▲ 369	▲ 2,466
七ヶ宿町	1,664	1,163	1,151	▲ 12	▲ 513	女川町	9,932	6,085	5,977	▲ 108	▲ 3,955
大河原町	23,465	23,504	23,270	▲ 234	▲ 195	南三陸町	17,378	11,512	11,239	▲ 273	▲ 6,139

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数